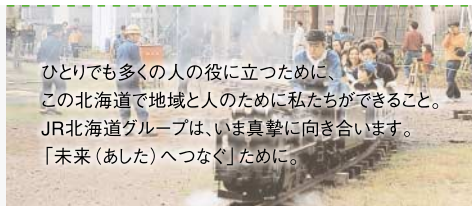


# あした 未来へつなぐ

【社会貢献】



ひとりでも多くの人の役に立つために、この北海道で地域と人のために私たちができること。JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。「未来(あした)へつなぐ」ために。

文＝本間 吾里砂



一人ひとり声をかけながら、公德袋と名づけられたゴミ袋を手渡す「車内実践」。

**集団行動を通して、公德心を身につける！**  
**今年で結成四十七年目の「札幌鉄道少年団」。**  
**平成二十二年には「旭川鉄道少年団」も発足！**

**(財)**

交通道德協会が運営する「鉄道少年団」は昭和三十五年十月二十二日、鉄道を通して学校も年齢も違う友だちと親交を深め、なおかつ高い品性と明るく健全な心身を養い、自ら進んで社会のために奉仕する青少年の育成を目的に、東京都で結成されたのが始まりです。

函館本線苗穂駅構内に事務局を置く「札幌鉄道少年団」は、全国二番目の鉄道少年団として昭和三十九年に結成されました。平成二十三年六月現在、団員数は小学三年から高校三年までの全五十名(内十六名は受験勉強のため休団中)。活動内容は、団体行動訓練をはじめ、車内のお客様に公德袋を配ったり、ゴミの回収などを行う車内実践、踏切事故防止キャンペーン時のドライバーや歩行者への踏切マナーの呼びかけ、鉄道施設での清掃などの奉仕活動、鉄道施設見学、キャンプ、クリスマス会などのレクリエーションと多彩です。無理なく参加できるよう活動は月

二回程度。七月末～八月初旬には全国の鉄道少年団が集結する「公德キャンプ全国大会」が開催され、札幌からも毎年多くの団員が参加しています。このほか、ポイスカウトやスポーツ少年団など札幌市内で活動する六つの少年団が集まって開催される「友遊K i D, S ランド」など、団以外が企画したイベントにも積極的に参加し、日ごろの活動の成果を発揮しています。

また平成十八年四月に、分団の形でスタートした「旭川鉄道少年団」が古河団長のもと全国五十五番目の鉄道少年団として平成二十一年四月に正式に登録されました。団員数は現時点で二十三名(内二名休団中)となっています。札幌鉄道少年団の団長・石川貞夫いしかわさだおさんは、「自分から進んで行動したり、リーダーシップを発揮したりと、活動を通して子どもたちが大きく成長していく様子がわかります。保護者の皆さんも、わが子の変化を喜んでくださっています」と話しています。子どもたちもその多くが途中退会することなく、はじめて体験する活動に一つひとつ目を輝かせながら取り組んでいます。

募集については毎年、年度始めに札幌市の広報誌やJR駅構内にポスターを貼って告知しており、入団は随時可能。十歳以上十八歳未満で、保護者の同意があればだれでも応募することができます。



団体行動訓練は鉄道少年団の代表的な活動のひとつ。

JR苗穂駅近くの公道で踏切事故防止キャンペーン啓蒙チラシを配布。



●問い合わせ先／札幌：(財)交通道德協会札幌鉄道少年団 TEL&FAX011-221-2535 旭川：JR北海道旭川支社営業企画グループ TEL0166-24-0640